



士別ロータリークラブ会報

創立1960・3・24 RI第2500地区

vol. 33 No. 2132

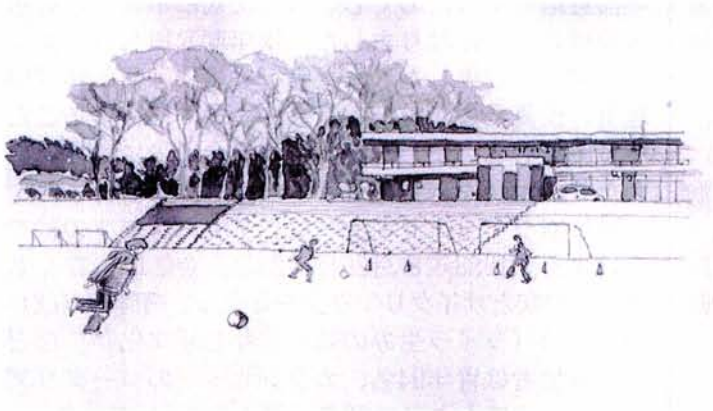
二世紀への出発 原点に戻ろうロータリー

超我の奉仕。

百年を礎に原点に戻ってもう一度ロータリーを語ろう

2005～2006年度 RI会長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー



百瀬達夫画

例会場/士別グランドホテル
例会日/毎週月曜日 12:10～13:10
事務所/士別グランドホテル
TEL (0165) 23-1234

会長/汐川 泰晴
副会長/織戸 俊二
幹事/川原 一夫

士別河川防災ステーション (天塩川河川敷)

第2209回例会 2006年4月3日(月)

今日のプログラム ・普通例会 ・理事会

■前回(3月27日)の記録■ ・夜間例会 ・会員卓話

司 会 藤吉敏博会場監督
斉 唱 それでこそロータリー
本日の出席 出席率100% 会員65人中 出席者65人
本日の欠席

メイクアップ
ビクター
ゲスト
ニコニコBOX

累計241,000円

例会予定

4月・ロータリー雑誌月間

4月3日(月) 普通例会・理事会
4月10日(月) 普通例会
4月17日(月) 普通例会
4月24日(月) 夜間例会

5月・ボランティア月間

5月1日(月) 特別休会
5月8日(月) 普通例会・理事会
5月14日(日) I・M 美深ロータリークラブ
5月15日(月) 花見例会
5月22日(月) 普通例会
5月29日(月) 普通例会

■ 会務報告

汐川泰晴会長

春の訪れも間近となり、ここ暫くは野球あれこれと明るい話題のニュースに包まれております。

3月24日、農事組合法人「北拓」の代表を勤める中川涼一会員の法人団体が、地域農業の発展に貢献された功績が評価され、士別市農業奨励賞を受賞されました。心よりお祝い申し上げます。

先の例会において川原幹事より第2分区IM開催のご案内と参加申し込みのお願いがございました。

新入会員又、2・3年以内の会員の方々には是非参加を頂き、ロータリーについて理解を深めて頂ける勉強会の機会になればと思います。多数の参加申し込みをお願い申し上げます。

尚、IMの式典・懇親会において、次期第2分区ガバナー補佐千葉道夫予定者の出番が予定されております。次期千葉ガバナー補佐への激励と感謝を込め、会員皆様方の1人でも多くのご参加いただき、出来る支援・協力をして参りたいと思っております。ロータリアンの暖かい友情をもって多数の参加を重ねてお願い申し上げます。

今月は、士別ロータリークラブの創立記念日の月という事で「創立記念日に因んで」、西條輝光会員より卓話を頂くことになっております。

■ 幹事報告

川原一夫幹事

1) ロータリアンの宿、お店、のガバナー月信5月号に掲載の原稿早めに記入、お願致します。

2) 美深にて開催されますインターシティーミーティングの締切り4月14日ですので多数の皆様のご登録を。なお個人負担5000円です。

3) 年会費の納入のお願いです。予算の関係もあり、早めに入金いただきますようお願い致します。



4) 次年度ガバナー事務所より渡辺寿男会員に地区の広報委員会委員の委嘱状が届いております。

(写真は汐川会長から委嘱状を受け取る渡辺会員)

■ ロータリー卓話

「士別でのライナーセミナーについて」(要約)

士別RC創立記念日例会にちなみ

西條輝光会員

今日はライナーセミナーについて少しの時間をお借りします。

ライナー＝ロータリー青年指導者養成プログラムの正式名称です。

対象年齢は14歳から18歳までと19歳から30歳まで

の若い人のための構成プログラムで、二つのグループとした目的は多様なニーズと成長過程に対応するためです。

目的は若い人々の指導者および善良な市民としての資質を伸ばすことで、RYLAは地区全般にわたり若い人々とロータリアンを参加させる地区のプロジェクトです。

佐藤前会長の時に1988～1989年度の第9回ホスト役を引き受けてはとの話がありました。その時は私自身ライナーを知らなかったからでしょう、そんな大事業は辞退しようの姿勢でした。

私の年度のガバナー公式訪問時講評に「歴史と伝統のあるクラス、活気ある活動が出来るはず」そのことが念頭にあって、士別だってやれば出来るさと半面意地もあつたのでしょう、正式にホスト役を引き受けることになりました。次年度武田会長に大変ご負担をかけました。また実行委員には私の年度の理事、役員全員が実行委員会の役員に移行することで了解をもらいました。実行委員会役員には2年にわたり、大変ご苦勞をかけ、お世話になりました。

第9回ライナー・セミナーは、テーマ『友情の輪を広げよう』1988年8月26日～28日。会場は、つくも青少年の家とサイクリングターミナル、講師は(故)山川PG(ライナー生みの親)『今なぜ文化か』などで、参加者は青年94名、カウンセラーのロータリアン63名、ホストクラブ59名、総人数216名でした。

参加した青年の主な感想は以下のようなものでした。

・不安と気負いを感じての参加でしたが、青少年の家の前でロータリーの方が雨の中水浸しになって私達を出迎えて下さったのを見て大変感動すると共に緊張もほぐれました。

・参加して一番私が勉強になったのは「思いやり」を再度考えることが出来たことです。「人との出会いを大切に」し、「他人への思いやりを大切に」して行きたいと思えます。

・「百冊の本を読むより、百人の人と会え」この言葉が一番心に残っています。

・ロータリーはお金持ちの町の有力者の集まりだと思っていたが、実は社会にPRのしない、いろいろな奉仕活動をやられている事が解り自分も考え直さなければと思った。

・異業種、異年齢の方々と素晴らしい出会いと幅広い視野から意見交換が出来た。短い時間しか取れなかったけど一人ひとりの中までふれ合ったように思えます。

参加青年全員が感想文を残しています。講師の話に感動した子、それを自分の生活で実行に移したいと決意する子、皆立派に地域に貢献していることでしょう。17、8年を経過し、年齢も40半ば前後に達しており、それぞれ各地で活躍していることと思えます。